

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	31.91	0.10
JPY/THB	0.2156	-0.0008
USD/JPY	148.00	1.01
EUR/THB	37.60	0.02
EUR/USD	1.1788	-0.0025
USD/CNH	7.109	0.008
SGD/THB	24.87	-0.02
AUD/THB	21.10	-0.06
USD/INR	88.13	0.33
USD Index	97.35	0.47

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.169	-0.007
10Y (THB)	1.369	-0.045
5Y (USD)	3.663	0.009
10Y (USD)	4.104	0.017

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,648.7	-39.3
WTI (Oil)	63.57	-0.48
Copper	9,940.0	-56.0

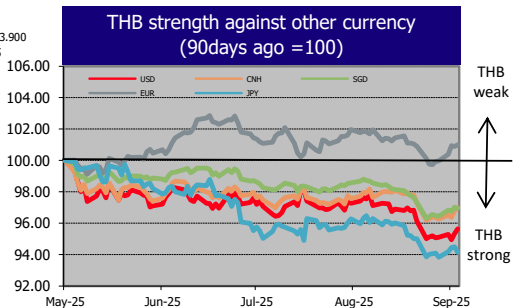
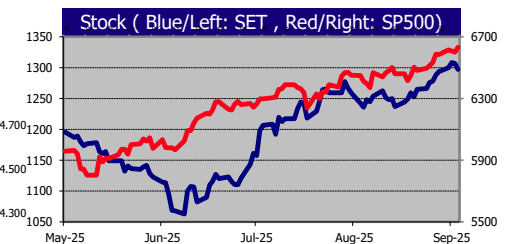
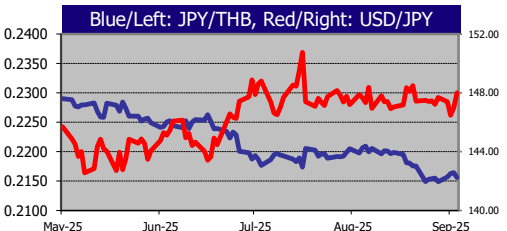
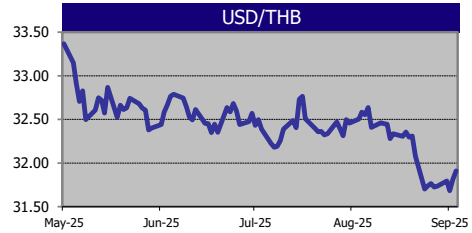
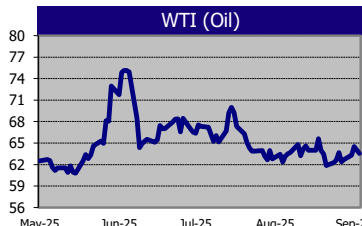
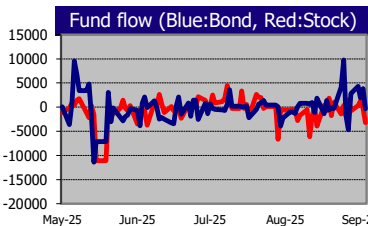
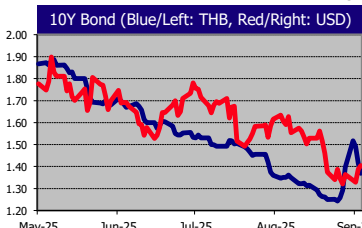
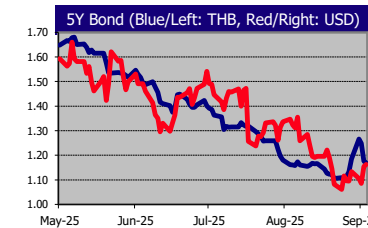
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,297.01	-9.68
NIKKEI (JP)	45,303.43	513.05
DOW (US)	46,142.42	124.10
S&P500 (US)	6,631.96	31.61
SHCOMP (CN)	3,831.66	-44.68
DAX(GER)	23,674.53	315.35

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,227)	-3027.6
Bond net flow	(325)	-4133.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは31.80パーツ台前半で取引を開始すると、安値圏でパーツを買い戻す動きが強く、31.70パーツ台前半まで買われる。その後値を戻し31.90パーツ台前半をつけると、欧州時間入りにかけては再びパーツが買い戻され、31.70パーツ台前半まで下落。その後は米国新規失業保険申請件数の発表を控え小幅な値動きで推移。NY時間では米国新規失業保険申請件数が予想を下回った事を受け、米金利の上昇に伴いドルが買われ31.90パーツ台前半まで上昇。しかし、その後は米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を押さえ、午後は31.90パーツ台前半での推移が続き、そのままの水準で取引終了。

●ドル円その他

アジア時間のドル円は146円台後半でオープン後、FOMC通過で材料なく動向薄く推移。午後にかけては、利下げしたもののFOMCメンバーの利下げ予想中央値やパウエル議長の会見での発言が市場予想対比タカ派だったとの解釈からドルが買われ上昇し、一時147円台半ばを付けた。欧州時間に入ると、米国の雇用関係のデータの発表を控え147円台前半で方向感なく推移。NY時間では米国新規失業保険申請件数が予想を下回った事を受け、米金利の上昇に伴いドルが買われ148円台前半まで上昇。しかし、午後は米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を押さえ、147円台後半で推移し、そのままの水準で取引終了。

Bangkok Dealer's Eye

本日、日本では日銀金融政策決定会合の結果が発表される。日銀は世界でも珍しく利上げ方向を向く中銀だが、大方の予想では本日の会合では政策金利の据え置きが予想されている。

日銀はこれまで「経済が見通し通りに進めば利上げ」とのスタンスを維持している。この「見通し」というのは四半期ごとに発表される展望レポートのことを示すわけだが、前回7月に発表された内容では2025年度のインフレ率（生鮮食品を除く消費者物価）が2%台後半になるとしている。今朝方発表された8月の全国CPIの結果は前年比2.7%となった。4月以降、3%台で推移しており、「見通し通り」に進んでいると思われるが、日銀の腰は重い。背景には、やはり米関税による影響を見極めたいという思惑がある。今週に入り、自動車関税が15%に引き下げられる等、関税影響も徐々に見通しがきくようになってきており、今日こそ今後の利上げペースに関するヒントが得られるか注目が。

JPY/THBで見れば足もとで0.21パーツ台半ばと今年1月ぶりのJPY安THB高水準で推移している。同水準を明確に下抜けると、1997年以来のJPY安THB高水準となり、次なるチャートポイントとしては0.20台半ばまでめばしいポイントがない。本日会合を受け市場が円安で反応した場合には、想定上に値幅が大きくなる可能性を警戒したい。（綱島）